



日暮れまえ、ふと壁を見ると。

ひとりひっそりとももの思う姿が。



そして棚の奥でひとりひっそりもの思う姿。



ううむ、ひとりだけ、というのはやはり寂しいのだな。

ということで。



何やらものさびしい佇まいのものを。



日は上り、日は暮れる。

ぼちぼちと、編む。



ネイビー君のグレイタイツみたいな足よりも少し華やかにしようね。

いろんな色や風合いの糸で迷うよ。



色に悩みながら、シマシマシマシマ...



足の長さ、これくらいでいいかな。



日は上り、日は暮れる。

そして。

できた！



夜中生まれ。

生まれたからには、やっぱりお洒落なマフラー欲しいよな。

...ウン、オレ地味だけど、キミの方ほうんとカラフルなのなんてどうかな。



マフラーのことは、明日。

とりあえず、おやすみなさいお月さま。



で、翌朝。



う〜ん。



う〜ん。

...なかなか春らしいきれいな色だよね。ウン。

この際二人ともきれいな色のものにしたいよね。ウン。



待ってるから、早く編んで...

と、ここで何やかや、ぴたりとストップしてたら



まだ編まんのか...

...怖いから上から睨まないで。

ホラっ、できた。



似合うヨー。



夜中に撮影したから色がくすんでる。もうちょっとカラフルできれいだよ。

今度、朝の光で撮ってあげるね。

## ニワトリ君兄弟誕生

<http://p.booklog.jp/book/72220>

著者 : yamamomon

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/yamamomon/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/72220>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/72220>

電子書籍プラットフォーム : ブクログのパー ( <http://p.booklog.jp/> )

運営会社 : 株式会社ブクログ